

金城大学同窓会

《会報誌 第7号》 2013年12月発行号



《同窓会活動報告》

平成25年度役員会 開催報告

《交流パーティー 開催報告》

《同期会 開催報告》

《同窓生ピックアップ》

《加藤真一新理事長就任挨拶》

《大学行事報告》

平成24年度卒業式、平成25年度入学式、新入生歓迎会、
新入生合宿研修、クラブ・同好会リーダー研修会、
卒業研究発表会、第38回金城祭

《トピックス》

作業療法学科開設祝賀会、公開講座、
第8回保健・医療・福祉創造フォーラム開催報告、
名誉教授称号記授与式 など

《研究・教育活動報告》

研究活動成果報告会開催報告、
科学研究費助成事業採択状況 など

同窓会活動報告

平成25年度役員会 開催報告

《第1回役員会 平成25年6月29日(土)》

【議題】

1. 前回役員会〔平成24年9月7日(金)〕議事録確認

2. 平成25年度役員改選について

3. 平成24年度事業報告・決算報告について

4. 平成25年度事業計画・予算について

それぞれ資料を確認し、いずれも全会一致で承認されました。

5. 平成25年度交流パーティーの開催について

昨年度は、『総会・懇親会』として行う予定だったが、出席者数が少なかったため、『役員会報告会・懇親会』として10月20日(土)に実施した。今年度は、『交流パーティー』という硬いイメージにならないようにし、参加者の増加につなげ、今後、総会として行えるようにしていくことの確認がなされました。また、今年度の開催日時については、10月27日(日)に金沢駅周辺で開催することが決定され、内容については今後検討することになりました。

6. 設立10周年記念事業について

開催時期については、6月下旬頃に金沢駅周辺で開催することが決定され、内容については今後検討することとなった。また、平成26年度は設立10周年記念事業を行うことで、交流パーティーは行わないこととの確認がなされました。

7. その他

在学生が卒業してから同窓会の活動を知ることが多いと、卒業生から聞くことがあり、同窓会をより活性化させることを目的として、国家試験後や就職内定後等、卒業式前に、同窓生と交流できる場



があれば、より活性化していくのではないかなど意見がありました。

《第2回役員会 平成25年10月5日(土)》

【議題】

1. 前回役員会〔平成25年6月29日(土)〕議事録確認

2. 平成25年度交流パーティーについて

平成25年10月27日(日)開催予定の交流パーティーの開催について、神谷 幹事より資料に基づき説明がなされ、同窓生及び教職員の参加申込締切、10月4日(金)時点の参加者数が同窓生40名、教職員23名、合計63名と報告され、同窓生30名以上の参加に伴い実施されることの報告もなされました。また、出欠の返信がない同窓生が目立つため対応策が必要である現状報告もなされました。開催にあたり、人員確保の協力依頼及び交流パーティーの興味・関心を更にもつもらい参加につながるようするほか、「Facebook」等のソーシャルネットワークの活用などの提案もあり今後、検討することとし、全会一致で承認されました。

3. 設立10周年記念事業について

設立10周年記念事業について、神谷 幹事より進捗状況の報告がなされ、濱田会長よりその現状をふまえ、「設立10周年記念事業」について予定していた内容を再検討する必要があるとの見解が述べられました。これについて、各役員より意見が出され、当初の予定を変更し、交流パーティーの中に設立10周年を記念した内容を盛り込む内容で開催することとし、日程を含めた内容については、今後さらに検討していくことと全員の承認がえられました。また、今後の同窓会活動をより活性化させるためにも、平成25年10月27日(日)の交流パーティー後、日を置かずに、第3回役員会を開くとの意見が出され、あわせて全員の承認がえられました。

予算・決算 (平成24年度決算・平成25年度予算)

一般会計 (単位:円)			一般会計 (単位:円)		
収入の部	平成24年度決算	平成25年度予算	支出の部	平成24年度決算	平成25年度予算
会費	4,680,000	5,140,000	会議費	615,342	950,000
利息	452	452	金城祭補助費	339,391	500,000
雑費	0	0	会報誌制作費	480,200	550,000
前年度繰越金	3,624,813	2,421,548	ホームページ制作費	126,000	150,000
合計	8,305,265	7,562,000	郵送費	575,554	900,000
			雑費	133,730	270,000
			会費戻金	20,000	200,000
			同期会開催助成金	93,500	500,000
			事務費負担金	500,000	500,000
			特別会計繰入金	3,000,000	1,500,000
			予備費	0	1,542,000
			合計	5,883,717	7,562,000
			次年度繰越金	2,421,548	-

特別会計 (単位:円)		
収入の部	平成24年度決算	平成25年度予算
特別会計繰入金	3,000,000	1,500,000
利息	5,215	5,359
前年度繰越金	22,006,426	25,011,641
合計	25,011,641	26,517,000
支出の部	平成24年度決算	平成25年度予算
予備費	-	26,517,000
合計	-	26,517,000
次年度繰越金	25,011,641	-

平成25年度役員・委員

会長	濱田 陽介 (1期生)				
副会長	中野 雄介 (1期生)	河合 直人 (8期生)			
会計監査	上田 良和 (1期生)	岡谷 準 (1期生)			
委員	今村 裕子 (1期生)	内島 一憲 (1期生)	紺 昇平 (1期生)	伊藤 恵里 (2期生)	寺井 紀裕 (2期生)
	川嶋 玲子 (3期生)	七野 澄麗 (3期生)	田中 宏治 (3期生)	山下 和恵 (3期生)	赤木 由未子 (4期生)
	清水 敦子 (4期生)	庄田 紋子 (4期生)	高橋 志未 (4期生)	林 裕也 (4期生)	池上 実希 (5期生)
	越村 知恵 (5期生)	辰田 沙弥香 (5期生)	松下 早希 (5期生)	大久保 朋美 (6期生)	高橋 孝明 (6期生)
	西村 仁美 (6期生)	花井 友美 (6期生)	早崎 久徳 (6期生)	宮原 千夏子 (6期生)	荒木 友希 (7期生)
	土田 行美 (7期生)	中野 友博 (7期生)	成川 千絵 (7期生)	西川 美香 (7期生)	澤田 竜之介 (8期生)
	西谷 彰紘 (8期生)	松浦 由依 (8期生)	鷺田 恵 (8期生)	岩田 めぐみ (9期生)	北村 允人 (9期生)
	劔村 祐依 (9期生)	濱 星美 (9期生)	藤川 諒也 (9期生)	岩上 倫太郎 (10期生)	坂 千晶 (10期生)
	廣岡 恵莉香 (10期生)	前田 静香 (10期生)			
幹事	側垣 順子、岡村 綾子、野口 雅弘、寺西 哲秀、神谷 伸久、中島 久美子				

交流パーティー開催報告



交流パーティーの様子



濱田陽介会長



奈良学長による乾杯の発声

10月27日(日)に、ANAクラウンプラザホテル金沢にて、「金城大学同窓会 交流パーティー」が開催され、卒業生53名、教職員24名の出席がありました。はじめに、濱田陽介同窓会長(1期生)より日頃の同窓会運営へのご理解ご協力に対し、謝辞が述べられました。引き続き、学校法人金城学園、加藤真一理事長(平成25年7月1日就任)よりご挨拶いただいたあと、役員会報告会にて、審議・承認された事項について濱田陽介同窓会長より報告が行われました。(※詳細は、「平成25年度役員会開催報告」を参照ください。)

引き続き行われた交流パーティーでは、旧友や恩師たちとの再会に、近況報告や思い出話に花が咲く中、同窓会役員が企画・進行してテーブル対抗ゲームなどが行われ、ゲーム後の結果発表の際には景品の当選発表もあり歓声が上ががり、和やかな雰囲気にも包まれていました。最後に、記念として集合写真を今年度も撮影し、盛会のうちに終了しました。当日は、ご多用の中ご出席いただいた皆様、誠にありがとうございました。

金城大学同窓会では、今後も同窓生同士の有機的な繋がりを構築していけるよう、同期会の助成(※)に特に力を入れていきます。また、平成26年には、同窓会設立10周年記念として、交流パーティーをより盛大な形式で行いたいと考えています。このように、今後も積極的な事業を展開し、会員の皆様へご案内できるよう、名簿の整備に努めていきますので、趣旨をご理解の上、同窓会運営に更なるご協力をお願いいたします。(※詳しくは、同窓会ホームページ内<http://www.kinjo.ac.jp/ku/alumni/>同期会開催助成規程をご覧ください。)

同期会 開催報告



真剣な表情で受講する卒業生



懇親会の様子



平成25年度 医療健康学部 卒後研修 セミナーおよび懇親会 報告

平成25年9月22日(日)に、医療健康学部理学療法学科の卒業生を対象とした卒後研修セミナーが開催されました。今回の研修会は愛知県にある「一般社団法人Re Smile」の代表を務める、理学療法士の小松真一先生をお招きして、『解剖学的特徴を生かした関節可動域の改善法』(実技・下肢編)と題した3時間の実技講習を行いました。関節可動域を効果的に改善するにはどうすべきか」という理学療法士にとつて非常に重要な課題を、解剖学的視点から論理的に解説する小松先生の分かりやすい実技講習は、多くの卒業生にとつてとても有意義なものになりました。

セミナー後は、場所を竹取御殿金沢駅前店に移し、懇親会が行われました。懇親会には、小松先生や本学教員も参加し、大変盛況な会となりました。

同窓生活動 報告の募集

同窓生の皆様におかれましては、各方面でご活躍のことと思います。その中で、「同期会を開催しました」「同じサークルだった仲間と久々に集まりました」など、同窓生の近況報告を募集しています。是非、同窓会会報誌でも活動の様態を掲載させていただきたいと思っておりますので、お気軽に情報をお寄せください。

同窓生ピックアップ

笑顔と元気をモットーに 利用者さんを支えます

認知症の利用者さんが多い4階棟のスタッフとして、食事や入浴、排泄など日常生活の介助をしています。福久ケアセンターは大学の実習で一度、お世話になりました。とても雰囲気良く、就活中はこの働くことしか考えていなかったほどです。

入職してまだ1年も経っていませんが、利用者さんの笑顔や感謝の言葉を励みに頑張っています。そして、先輩方には時に優しく、時に厳しく指導していただいています。技術面はもちろん、仕事への取り組み方も見習うことがかりで、尊敬できる方々とともに働くことができることに喜びを感じています。

勤務中に心掛けていることは、いつも笑顔で元氣よく接することです。ただし、馴れ馴れしくならないように言葉遣いや態度には十分注意しています。利用者さんは



尾山 裕樹さん【介護老人保健施設 福久ケアセンター勤務】
社会福祉学部 平成24年度卒業 10期生



人生の大先輩。そのことを自覚して尊重しなければなりません。もし、自分が両親を預けている身だとして、どう思うかを常に考えるようになりました。

福祉関係の仕事に就いている私の親がいつも楽しそうに働いており、自然とこの分野に興味を持つようになりまし。自他ともに認める明るい性格を活かすことができると、福祉を専門的に学ぶことに。金城大学のオープンキャンパスに参加した際、先輩方が温かく迎えてくれたことは大変印象に残っています。

大学時代の思い出を一つ挙げるとしたら、地域の高齢者の皆さんと交流した「ゆうがく広場」でしょうか。まとめ役を任せられ、司会進行や会場の盛り上げに徹しました。広場の活動を通して、多くの人とコミュニケーションが持てた経験は今も活きています。

現在の目標は、ケアマネジャーの資格を取得することです。その先の夢は自分の施設を持つこと。いつまでも初心を忘れずに、笑顔で丁寧な仕事をし続けたいですね。



対話を大事にケアして 患者さんの心を和らげたい

幼い頃から人を助ける仕事への憧れはあったものの、具体的にどうすれば良いかわかりませんでした。そのような中で医療福祉関係の仕事の母と姉から理学療法士になることを勧められ、さらに金城大学に専門の学科があることも教えてもらいました。私も何か資格を持つて社会に出たいと考えていたので、受験を決意しました。

理学療法士となることに、まだ悩みがあったのでしよう。実は大学在学中に受けた国家試験ではわずか数点足らず、あえなく涙をのむことに。結果は残念でしたが、「この道に進みたい」と気持ちが固まりました。

その後、周りの支えもあって無事に資格を取得し、今は働く場があることや誰かに必要とされることに心から喜びを感じています。この病院は実家から近くて学生時



牛ノ濱 弥丘さん【公立羽咋病院勤務】
医療健康学部 平成23年度卒業 9期生

代の実習でもお世話になりました。だから、仕事の流れへの理解は早かったと思います。そして、先輩方もすぐに馴染むことができました。ワークライフバランスを取れる職場で本当に雰囲気

もよく、女性でも働きやすい環境が自慢です。
リハビリテーションのメニューは患者さんの症状によって異なります。現場では常に考え、勉強する毎日です。患者さんの中には治療に対するモチベーションがなかなか上がらない方もいます。その時は少しでも心が元気になるようにと積極的に話しかけるようにしています。気持ちを明るくしてから、理学療法を始めるのです。無理に動いてもらうより、まずは相手の気持ちを汲むことが大切だと考えています。

大学時代の友人の多くは金沢の病院や施設で頑張っています。私は過疎化や高齢化が進む能登で自分にできることを模索しながら、挑戦する道を選びました。これからも患者さんから多くを学び、プロとして必要な技術を磨き、人の心を元気にできる理学療法士になりたいです。



加藤真一新理事長就任挨拶



学校法人金城学園理事長 **加藤 真一**

平成25年7月1日より金城学園理事長に就任

金沢大学法学部卒、大阪大学大学院法学研究科博士前期課程修了
金城短大講師、金城学園法人本部長・副理事長を歴任
金城大学社会福祉学部教授、社会福祉法人金城福祉会理事長を兼務

さて、私こと、このたび平成25年7月1日をもちまして、学校法人金城学園の理事長に就任いたしました。建学の精神及び教育理念を礎とする学園の歴史と伝統を重んじ、時代の要請に応える学園の創出に全力を尽くしてまいりますので、今後とも金城学園・金城大学の教育研究活動、社会活動等にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

金城学園は、1904（明治37）年に加藤廣吉・せむ夫妻によって創設された金城遊学館を淵源としています。爾来、建学の精神に「遊学の精神の涵養」及び「良妻賢母の育成」を掲げ、地に足の着いた教育活動を推進してきた金城学園は、百年余の時を経て今日、金城大学、金城大学短期大学部、遊学館高等学校、金城幼稚園及び金城大学附属西南幼稚園へとその精神を受け継いでいます。

この間、学園の各学校においては、「率先垂範、質素勤勉」（創始者：加藤廣吉・せむ）、「教育とは云うてきかす事ではない。して見せる事でもない。している事である。」（二代目：加藤二郎）、「教育とは先生と学生の全人格のぶつかり合いの中から生まれてくる学生への影響、それも何らかのよい影響である。」（三代目：加藤晃）という教育理念を踏まえた教育実践を誠実に展開してきました。

金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など

金城学園	建学の精神	<p>遊学の精神の涵養 何ものにもとらわれず、自由に広く世の中を見聞し、人格を高め磨いていくこと。</p> <p>良妻賢母の育成 家庭における女性の役割の重要性にかんがみ、周りの人々がより良く幸せに生きるために支えとなる人材を育成すること。</p>	教育理念	<p>創始者：加藤廣吉・せむ 率先垂範、質素勤勉</p> <p>二代目：加藤二郎 教育とは 云うてきかす事ではない。して見せる事でもない。している事である。</p> <p>三代目：加藤晃 教育とは先生と学生の全人格のぶつかり合いの中から生まれてくる学生への影響、それも何らかのよい影響である。</p>
	金城大学の設立の理念	<p>明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在の養成</p>	目的及び使命	<p>教育基本法・学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を養い、文化の向上および社会の福祉に寄与する人材を育成することを目的とする。（学則第1条）</p>

平成24年度 金城学園 財務概要

消費収支計算書

(単位:千円)

消費収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金	2,448,742
補助金	737,894
その他	250,731
基本金組入額	-607,655
消費収入の部(合計)	2,829,712

消費支出の部	
科目	金額
人件費	2,145,168
教育研究経費	730,642
管理経費	427,193
その他	48,871
消費収入超過額	-522,162
消費支出の部(合計)	2,829,712

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部	
科目	金額
固定資産	9,149,626
有形固定資産	8,664,348
その他の固定資産	485,278
流動資産	2,938,037
資産の部(合計)	12,087,663

負債・基本金・消費収支差額の部	
科目	金額
固定負債	1,992,100
流動負債	709,663
基本金	11,258,049
消費収支差額	-1,872,149
負債・基本金・消費収支差額の部(合計)	12,087,663

※ 詳しくは、金城学園ホームページ (<http://www.kinjo.ac.jp/>) をご覧ください。

平成25年度 金城大学 学部・学科構成 一覧

金城大学



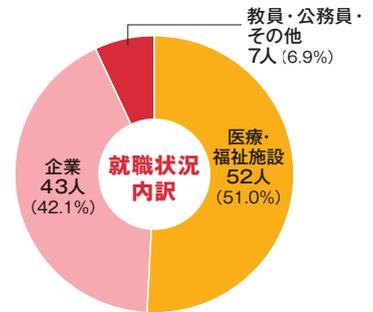
平成24年度卒業生の進路結果

社会福祉学部

社会福祉専攻

平成25年5月1日現在

職種別	医療・福祉施設	企業	教員・公務員・その他
介護職 48人	高齢者施設 32人	医療・福祉 11人	教員 5人
支援員・指導員 12人	障害者施設 16人	卸売・小売業 10人	公務員 1人
相談援助職 1人	病院 4人	サービス業 8人	その他 1人
営業職 11人	計 52人	製造業 2人	計 7人
販売職 7人		建設業 1人	
事務職 5人		運送運輸業 3人	
製造・生産職 4人		情報通信業 3人	
接客職 4人		その他 5人	
教員 5人		計 43人	
その他 5人			
計 102人			



就職率97.1%=
就職者数102人÷就職希望者数105人×100

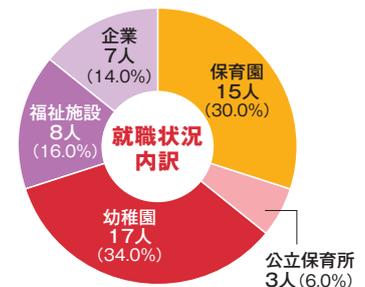
就職率	97.1%
卒業生	114人
就職希望者	105人
就職者	102人
進学者	4人

社会福祉学部

こども専攻

平成25年5月1日現在

職種別	保育園・幼稚園・福祉施設	公務員	企業
保育士 20人	保育園 15人	公立保育所 3人	介護職 1人
幼稚園教諭 17人	幼稚園 17人	計 3人	接客業 3人
支援員・指導員 4人	児童養護施設 3人		販売業 2人
介護職 3人	学童保育 1人		事務職 1人
販売職 2人	病院 1人		計 7人
事務職 1人	高齢者施設 1人		
接客職 3人	障害者施設 2人		
計 50人	計 40人		



就職率100%=
就職者数50人÷就職希望者数50人×100

就職率	100%
卒業生	51人
就職希望者	50人
就職者	50人
進学者	0人

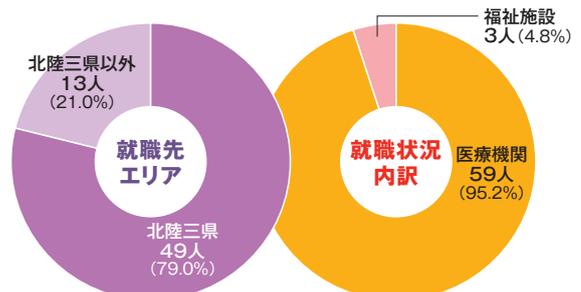
医療健康学部

理学療法学科

平成25年5月1日現在

職種別	医療・福祉施設
理学療法士 62人	医療機関 59人
計 62人	福祉施設 3人
	計 62人

就職率	100%
卒業生	64人
就職希望者	62人
就職者	62人
進学者(就職かつ進学者)	1人



就職率100%=
就職者数62人÷就職希望者数62人×100

※医療健康学部 作業療法学科は平成25年度開設のため卒業生なし

大学行事報告

平成24年度 卒業式

3月18日(月)に第10回卒業証書・学位記授与式が白山市松任文化会館にて挙行されました。社会福祉学部の卒業生162名、医療健康学部の卒業生64名が学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

式では、加藤晃理事長(現学園長)が告辞を述べ、奈良勲学長が「自分の可能性を能力に変え、自己実現をしてほしい」と式辞を述べました。続いて、祝辞が披露され、最後に、卒業生を代表して、富澤香月さん(医療健康学部)が答辞を述べました。

同日、会場をANAクラウンプラザホテル金沢に移し、卒業パーティーが盛大に行われました。

次年度の卒業式は、平成26年3月18日(火)に白山市松任文化会館にて行われる予定です。



平成25年3月18日

平成25年度 入学式

4月1日(月)に、第14回入学式が白山市松任文化会館にて挙行され、社会福祉学部154名、医療健康学部105名、2学部総計259名が入学し、大学生活の新たなスタートを切りました。

加藤晃理事長(現学園長)が告辞を述べ、奈良勲学長が「若いエネルギーを最大限に発揮し、学生生活を過ごしてほしい」と式辞を述べました。続いて、祝辞が披露され、最後に、新入生を代表して、医療健康学部の鷹野愛菜さんが大学生生活に向けて抱負を述べました。式には、多くのご来賓、保護者の皆様にご臨席賜りました。



平成25年4月1日

新入生歓迎会

入学式が終わって間もない4月6日(土)に新入生歓迎会が開催されました。学友会メンバーが企画したウォークラリーやクラブ・同好会紹介、豪華景品を用意した抽選会などで大いに盛り上がりました。また、多くの先輩たちとの交流を通して、本学での学生生活がいよいよ始まることを実感した一日となったようです。



平成25年4月6日

新入生合宿研修

今年度も、かんの郷白山尾口にて両学部合同の新入生合宿研修が、4月12日(金)～13日(土)、13日(土)～14日(日)の2班集体で行われました。社会に出るために必要なマナーを身につける、大学生としての自覚と計画性を持つ、異なる学部専攻の学生や教職員との交流を図ることなどを目的にレクリエーションやスポーツ大会、マナー講座等のさまざまな企画が実施されました。研修を通じて、今後の大学生活の第一歩を踏み出すことができたようです。



平成25年4月12日～14日

クラブ・同好会リーダー研修会

6月1日(土)に、各団体の代表者を対象にクラブ・同好会代表者研修会が開催されました。クラブ活動支援費申請や活動報告などの書類作成方法の説明をはじめ、学生の多くが利用しているソーシャルメディアの危険性やトラブルに遭わないための利用方法などについて



平成25年6月1日

での研修が行われました。その後、ドッジボール大会で部活の枠を超えた交流を深め、また、部室の清掃を行い研修会を終了しました。

卒業研究発表会

医療健康学部 平成25年10月5日
社会福祉学部 平成25年12月～26年2月

医療健康学部は、10月5日(土)に、卒業研究発表会が開催されました。4年生にとっては、大学生活の集大成の発表会であり、臨床現場を想定した高齢化による諸問題、生活習慣病による弊害に対処するような多岐にわたる様々な研究内容が報告されました。また、発表の最後には質疑応答が展開され、教員や在校生からの研究に関する質問に対し、自分なりの言葉で返答する4年生の努力がみられ、温かい雰囲気の良い発表会となりました。

また、今年度から研究会の中で優秀発表者のアンケートを行い、優秀発表者は卒業証書・学位記授与式にて表彰される予定です。



社会福祉学部は、12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を行います。

第38回金城祭

平成25年10月26日～27日



今年度は、「みんなで輪っしよい金城祭」38回目の絆をテーマに、第38回金城祭が10月26日(土)～27日(日)に開催されました。「MAY'S」によるゲストライブ、模擬店、ステージでの各種イベント等の企画が実施されました。あいにくの天候でしたが、両日とも多くの方に足を運んでいただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

トピックス

作業療法学科開設祝賀会

今年4月より医療健康学部に新たな学科として、作業療法学科が開設したことを受け、7月2日(火)に本学にて施設見学会が行われました。その後、白山市内の「グランドホテル松任」に場所を移し、学内外の関係者約60名が出席し、実習意見交換会及び開設祝賀会が行われました。



公開講座

5月11日から10月19日(各土曜日、全20講座)にかけ、今年度も短期大学部との共同事業として「金城大学公開講座」を実施しました。大学・短期大学の先生方による高齢化社会に対応した講演や外部講師による特別講演などが行われ、地域の方々を中心に、多くの方が聴講されました。なお、平成26年度も実施を計画していますので、大学・短期大学部ホームページ等をご覧の上、是非ご参加ください。



北國健康生きがい支援事業開催報告

北國新聞社との共催にて、一般の方を対象とした「医療健康講演会」「社会福祉講演会」が、北國新聞会館(金沢市)にて開催されました。今年度は8月3日(土)に医療健康学部の河野光伸教授による「体力維持のための基礎知識」加齢と運動の関係、8月31日(土)に社会福祉学部の大友順治教授による「ストレスとその解消法」一人でもできる自己暗示や呼吸法」が開催され、多くの聴講者がありました。



ゆうがく広場／悠遊健康サークル

今年度も介護福祉コースによる地域の高齢者の方々との交流を通じたレクリエーション活動事業として「ゆうがく広場」を、また、理学療法学科による白山市と本学が連携した地域在住高齢者を対象としたマシントレーニング、健康体操などを行う健康維持・改善講座事業として「悠遊健康サークル」がそれぞれ実施されており、地域の方々からも大変ご好評をいただいています。活動状況等の詳細については、大学ホームページに掲載されていますので、是非ご覧ください。



第8回保健・医療・福祉創造フォーラム開催報告



11月30日(土)に、第8回保健・医療・福祉創造フォーラム(北國新聞社共催)が本学にて開催され、保健・医療・福祉の施設職員、一般、学生などが参加しました。大会テーマを「よりよいパートナーシップの実現を目指して」とし、澤俊二氏(藤田保健衛生大学・医療科学部・リハビリテーション学科長・作業療法専攻・教授)による講演「1917年、近代作業療法が始まった！〜作業の力・作業療法の魅力」が行われました。講演後には、ごども・介護福祉・社会福祉、医療健康の2分科会が開かれ、各領域の専門家を招き、各分野における具体的な取り組みやそれぞれの立場における現状や展望などを提示し、情報・意見交換の場となりました。

名誉教授の称号記授与式

4月16日(火)に名誉教授称号記授与式が挙行され、3月末日に退任された永坂鉄夫前副学長に対し、加藤晃理事長(現学園長)より名誉教授称号記が授与されました。



退任教職員のご案内

医療健康学部の永坂鉄夫副学長(教授)、杉森ハム助教、社会福祉学部の松浦万里子教授、橋本陽子助教、事務職員の川本直子さん(学生部)の5名が3月末で、事務職員の市田修課長(経理部)が5月末で退任されました。

研究・教育活動報告

研究活動成果報告会開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、研究活動成果報告会の発表者は次の通りです。

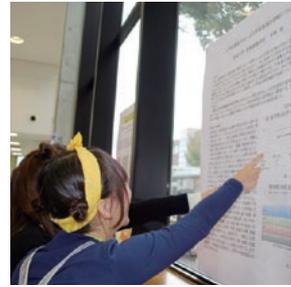
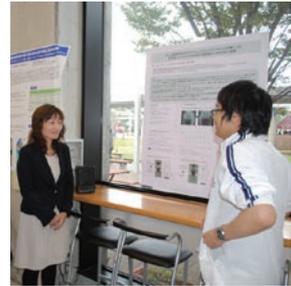
【特別研究費】

- ① 小島聖講師 (医療健康学部)
「足関節の底屈角度の違いが歩行時の足圧分布に及ぼす影響」
- ② 金城智代助教 (社会福祉学部)
「ひとり親家庭の多い沖繩県における『気になる子』を担当する保育者の意識調査～ひとり親家族の少ない石川県と比較して～」
- ③ 森啓至教授 (医療健康学部)
「中枢神経系の炎症状態が嗅覚機能へ与える影響についての基礎的検討」
- ④ 佐藤香緒里准教授 (医療健康学部)
「つまずきが発生する時の障害物との距離・位置関係に関する研究」
- ⑤ 木林勉教授 (医療健康学部)
「入学者選抜方法による学業意識と成績について」
- ⑥ 越納美和助手 (社会福祉学部)
「金沢市における『買い物難民』支援の現状と課題～支援者の聴き取り調査より～」
- ⑦ 神谷晃央講師 (医療健康学部)
「人工股関節置換術前後の骨盤側方傾斜と股関節可動域および筋力の経時的特性」



【国外研究費】

- ⑧ 川邊弘之教授 (社会福祉学部)
「第53回サニベルシンポジウムでのポスター発表」



科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成制度です。平成25年度の採択・交付者は次の通りです。

【大学】

- ① 永原朗子教授 (社会福祉学部)
「批判的リテラシーを育む福祉科教育における問題解決学習プログラムの開発」
- ② 田中克恵准教授 (社会福祉学部)
「特別養護老人ホーム入所者の終末期を支えるチームケアに関する研究」
- ③ 元村智明准教授 (社会福祉学部)
「大阪『博愛社』の研究：125年の歴史的検証」
- ④ 小島聖講師 (医療健康学部)
「理学療法的治療が関節拘縮の進行予防と回復に及ぼす病理組織学的影響」

【短大部】

- ⑤ 新井浩准教授 (美術学科)
「大学教員の教授力向上のための自己訓練システム」

「戦略的創造研究推進事業 (社会技術研究開発)」状況報告

下村有子教授 (社会福祉学部) の研究『視野障害者自立支援がねの社会実装』が、独立行政法人科学技術振興機構 (JST) の「戦略的創造研究推進事業 (社会技術研究開発)」実装支援プロジェクトに採択され、現在、視野狭窄、半盲、暗点などの視野障害をもった方に視野を拡張するめがねを使用してもらうことで、日常生活の自立を支援しようと、研究開発が進められています。研究開発期間は平成23年10月から平成26年9月までの3年間です。



平成24年度、平成25年度 私立大学等教育研究活性化設備整備事業採択

私立大学等教育研究活性化設備整備事業とは「大学力」の向上のため、私立大学などが大学改革を計るための事業です。そこで、金城大学では、平成24年度・平成25年度の2年連続で採択を受けました。その事業費でアクティブラーニング教室での授業及び、クリッカー、ホワイトボードを用いた授業など多彩な授業を行っています。



卒業後の証明書交付について

原則として、申し込み及び受け取りは、窓口または郵送のみの取り扱いとなります。

(※FAX、電子メールでの申し込みや研究室等への依頼は受け付けません。ご不明な点は電話にてお問い合わせください。)

○卒業後に発行可能な証明書

卒業後、本学にて発行可能な証明書は下記の通りです。

名称	手数料/1部	備考
卒業証明書	100円	
学業成績証明書	200円	
社会福祉主事任用資格単位修得証明書	200円	
卒業証明書・社会福祉士指定科目履修証明書(*1)	200円	社会福祉士の国家試験受験専用
教員免許申請用学力に関する証明書	200円	申請免許種ごとに必要(申請時に必要免許種類を明記のこと)

*単位修得証明書は任用資格取得に必要な科目の単位を修得したことを証明するものです。

*上記以外のものは申し込み前に、教務部までお問い合わせください。

(*1)社会福祉士の国家試験を受験しなかった方が、国家試験を受験する場合に必要。一度受験した方は受験票のコピーなどで再受験が可能ですので受験時にこの証明書は必要ありません。

○窓口申し込み

身分証(免許証など生年月日の分かるもの)を持参の上、所定の申請用紙に必要事項を記入し、代金をあわせてお支払いください。

身分証を提示できない方からの申請は受け付けることができません。

受け取りの際は、事前に発行済みであることを確認の上、身分証(免許証など生年月日の分かるもの)を必ず持参してください。

代理受領の場合も本人が事前連絡の上、代理人が身分を証明できるものを持参してください。

○郵送申し込み

下記のを大学事務局<申し込み先>宛に送付してください。

1. 証明書手数料分の切手
2. 送付先郵便番号・住所・宛名を明記した返信用定形外封筒(角形2号) *定形外郵便料金+簡易書留分300円、郵送料分切手を貼付け済み。
3. 必要事項(※下記参照)を記載した書類(自由様式)

<<記入必要事項>>

1. 氏名・生年月日
2. 入学及び卒業の年月
3. 学籍番号(わかれば記載願います)
4. 請求証明書名と必要部数
5. 提出先(必要部数毎に明記してください)
6. 必要理由(理由によって様式が異なる場合があります)
7. 連絡先(昼間連絡可能な電話番号)

<<申し込み先>>

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200
金城大学 教務部 Tel: 076-276-4400(代)

*記載事項に不備のあるものについては、受け付けることができませんので、ご了承ください。

<<返信用定形外封筒の郵送料金(参考)>>

申込数	簡易書留 (定形外郵便料金+300円)	速達郵便 (+270円)
証明書3通まで	420円	690円
証明書5通まで	440円	710円

*上記料金は2013.3.1現在のものです。

*原則として、繁忙期及び特殊なものを除き、到着後3日以内に発送します。また、お急ぎの場合は往復とも速達(+270円)にしてください。

*郵便料金についてはあくまで目安の料金です。不足が生じた場合は、後日請求させていただきます。

○注意事項

- 原則作成までに3日(土日、祝日は除く)かかりますので、できるだけ余裕を持って申し込みください。
- 進学の調査書については、別途お問い合わせください。
- 大学院受験用調査書や英文証明書等特別に作成を要するものは、2週間以上の余裕をもって申し込んでください。
- 英文証明書を請求する場合は、氏名のローマ字綴り(「日本国旅券」等公的証明書に登録したもの)を必ず書き添えてください。
- 証明書は在学当時の姓名で作成しますので、改姓された方は必要に応じて、戸籍抄本や市区町村の証明書等を先方へ併せて提出してください。

卒業生の施設利用

卒業生の皆さんも図書館所蔵資料の閲覧・複写・貸出ができます。(貸出期間の延長はできません)

《貸出冊数》3冊 《貸出期間》2週間(雑誌は除く)

※必ず事前に図書館までご連絡(076-276-4412)ください。その際、卒業年度・学籍番号・学科・名前をお知らせください。

※利用の際は現住所等を確認できるもの(免許証など)を持参し、カウンターに申し出てください。

※利用日・時間は在学生と同様です。また、卒業生が勉強会(自主ゼミ・研究会)を実施できる環境(場所)整備として、平日夜、土曜日などに小講義室・演習室等を使用することができます。なお、実際の使用に係る手続き等の詳細については、同窓会ホームページをご参照ください。



同窓会会員の皆様へ

この度、同窓会会報誌第7号を発刊いたしました。ご一読いただければ幸いです。

同窓会事務局では、同窓会員の名簿の整備を行っています。行事のお知らせ、会報誌の送付など、同窓会運営に役立っています。住所や氏名が変更になった方は、同窓会事務局(※下記参照)までご連絡くださいますようお願いいたします。

なお、ご連絡いただいた個人情報につきましては、同窓会の運営および同窓生への支援以外の目的では使用いたしません。

今後とも、同窓会の活動にますますのご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。

大学案内・募集要項

《入試広報部》

フリーダイヤル 0120-276-150

TEL 076-276-5175(直通)

FAX 076-275-4316

E-mail daigaku@kinjo.ac.jp